

病害虫防除技術情報第 14 号

平成 26 年 9 月 12 日

三重県病害虫防除所

ダイズにおける吸実性カメムシ類の発生量が多くなっています

1. 対象作物: ダイズ

2. 対象病害虫名: 吸実性カメムシ類(ミナミアオカメムシ、イチモンジカメムシ、ホソヘリカメムシ)

3. 発生状況: 多い

(1) 近年、伊勢平坦地域ではミナミアオカメムシの発生が急増しており、ダイズの被害粒(子実の萎縮、変形、変色)や、青立ち症状の発生が著しく増加しています。

(2) 巡回調査(9月第2週)では、発生圃場率 43.8%(平年 21.3%)、寄生株率 5.4%(平年 1.0%)、寄生虫数 3.4 頭/25 株(平年 1.0 頭/25 株)と平年より多く、昨年のような吸汁害の多発が懸念されます(表)。

(3) 特に、ミナミアオカメムシは北勢地域での発生量が多く、巡回調査圃場では成虫のほか、若齢幼虫の発生も確認されました(表)。

表 巡回調査圃場における吸実性カメムシ類の発生状況(2014年9月8日～11日調査)

地域	調査地点 (8地点32圃場)	寄生株率 (%)	寄生虫数 (頭/25株)	種類
桑名	いなべ市大安町大井田	18.0	18.0	ミナミアオ成幼虫、ホソヘリ成虫
四日市	四日市市江村町	6.0	2.0	ミナミアオ成虫
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	7.0	3.0	ミナミアオ成幼虫、イチモンジ成虫
津	津市白山町川口	9.0	3.3	ミナミアオ成幼、ホソヘリ成
松阪	松阪市藤之木町	2.0	0.8	ミナミアオ成虫
	松阪市保津町	1.0	0.3	ミナミアオ成虫
伊賀	伊賀市木興	0.0	0.0	—
	伊賀市千戸	0.0	0.0	—
	県全体	5.4	3.4	発生圃場率 43.8%
	平年値	1.4	1.0	(平年21.3%)

4. 防除対策

(1) 薬剤散布は、①莢伸長期(9月中旬頃・開花 20 日後)と、②子実肥大中期(10月上旬頃・開花 40 日後)の 2 回散布を基本としてください。

(2) 2 回散布ができない場合は、子実肥大初期(9月下旬頃・開花 30 日後)に必ず薬剤散布してください。

(3) 吸実性カメムシ類は移動性が高いため、無人ヘリなどによる広域での一斉防除が効果的です。

(4) エチプロール剤およびジノテフラン剤は、ミナミアオカメムシの殺虫効果が高いことが確認されています。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。